

広報

しょうばう

No.23

■平成31年3月29日
■発行／里庄町消防団第2分団第9部が代表出場!
～第65回（平成30年度）岡山県消防操法訓練大会～

平成30年5月20日、岡山県消防学校で開催された第65回岡山県消防操法訓練大会の小型ポンプ操法の部に、里庄町消防団を代表して、平成29年度の里庄町消防操法訓練大会で優勝した第2分団第9部（岩村・津江）が出場し、消防操法の技術力を競いました。

選手は、積み重ねてきた厳しい練習の成果を発揮しました。

また、本番前の激励式には、来賓、各部消防団員、婦人防火クラブ員、消防署員が多数出席し、出場選手を激励しました。

出場選手

指揮者	藤井 悠耶 (ふじい ゆうや)
1番員	平石 陽輝 (ひらいし ようき)
2番員	竹田 翔太 (たけだ しょうた)
3番員	仁科 道夫 (にしなみちお)
補助員	坂本 典之 (さかもとのりゆき)



里庄町消防団

～防災功労者知事特別表彰受章・感謝状贈呈～

平成30年7月豪雨において、里庄町消防団は昼夜を問わず、避難誘導や水防活動を行い、地域の安全確保と被害軽減に尽力したとして、岡山県知事から特別表彰を、総務大臣から感謝状をいただきました。今後も、地域の安心・安全のため、消防団員一同、努力してまいります。



里庄町消防団 平成31年度 行事予定

主な行事	4月	入退団式
	6月	部長研修
	8月	夏まつり里庄（警備）
	9月	厚生体育大会（警備） 備中地区女性消防団員・若手消防団員情報交換会
	10月	町消防操法訓練大会 防災訓練
	11月	町内防火パレード
	12月	年末夜警
	1月	消防出初式
	その他	① 毎月第1日曜日に無線テストを実施 ② 各部においてポンプ操作、放水訓練など

隨時 災害出動

ひとつずつ
いいね！で確認

火の用心

平成三十一年度全国統一防火標語

迅速に、的確に、安全に。～里庄町消防操法訓練大会～

平成30年10月21日、つばきの丘運動公園で第44回里庄町消防操法訓練大会が開催されました。

この大会は、消火活動に必要な消防資機材の基本操作や動作を習得し、火災発生時に迅速かつ的確に、また安全を確保して消火活動ができるよう、消防団員としての技術力を高めることを目的としています。

出場した選手は、来賓や婦人防火クラブ員、地元の団員が見守る中、ホースの延長と収納にかかる速さ、資機材の扱いの安全性、一連の動作における正確さを競い、迫力ある演技を披露しました。

大会結果は次のとおりです。



里庄町消防操法訓練大会結果

第1位	第2分団 第9部(岩村・津江)
第2位	第1分団 第2部(西平・ハツ・グリーンクレスト)
第3位	本部(町内全域)
第4位	第1分団 第1部(浜中全地区)
第5位	第1分団 第10部(川南・干凪・堂迫・金山・駅前)
第6位	第2分団 第5部(大原中・大原西)

敢闘賞	(優勝部以外で各番員を出した個人表彰)
指揮者	原田 健 (第2部)
1番員	長安 啓也 (第2部)
2番員	寺本 拓也 (第6部)
3番員	岡本 貴之 (第2部)

平成30年度消防団長等研修会で意見体験を発表

平成31年2月14日、岡山県下27の消防団と14の消防本部から各団長・消防長が集合する消防団長等研修会が岡山市で開催され、各消防団の意見体験報告の中で、里庄町からは、第2分団第8部の高島修部長が「平成30年7月豪雨の際の活動報告」と題して、発表を行いました。

私は、里庄町消防団第8部で部長をしている高島修と申します。私が住んでいる里庄町は岡山県の南西部に位置し、面積が約12平方キロメートルと、県内で2番目に小さい町で約11,000人の人が暮らしています。国道2号線とJR山陽本線が町内を通り、高速道路のインターチェンジも近く都市部へのアクセスが生まれている里庄町は、移住者も多数いるなど、年々団地が増えています。

一方で、農業用のため池も数多く残っています。私が管轄する地区は、西側に山があり、その中腹にある大きな溜池から東側の田んぼに水を流して稻作を行っていて、昔から住んでいる人が多くいます。その中で、私が昨年の7月豪雨の時に体験したことをお話しします。

平成30年7月5日

「なんかすつと雨降ってるなあ、ネットを見ると『梅雨前線が停滞し…』ようわからんけど激しくなつていく一方じゃなあ、大丈夫か？」

そう思いながら17時過ぎに帰宅していると一台の消防車が巡回していました。「いや出てはないけど、一応ちょっとみて」と一応ちょっとみた。どうしたん？出動要請出てた？

（そのやり取りの後、一旦は帰宅しましたが、やがて気になつて数人に電話して一緒に巡回に行きました。）

1時間くらいの巡回後、解散してしばらくしていたところ、21：30に役場本部から、『災害対策本部の設置により、出動依頼』のメールが来たので、車と徒步組で再度巡回開始したものの、やはり水量は多いな程度でした。24：00まで機庫待機し日付が変わつて解散しました。

私は、里庄町消防団第8部で部長をしている高島修と申します。私が住んでいる里庄町は岡山県の南西部に位置し、面積が約12平方キロメートルと、県内で2番目に小さい町で約11,000人の人が暮らしています。国道2号線とJR山陽本線が町内を通り、高速道路のインターチェンジも近く都市部へのアクセスが生まれている里庄町は、移住者も多数いるなど、年々団地が増えています。

一方で、農業用のため池も数多く残っています。私が管轄する地区は、西側に山があり、その中腹にある大きな溜池から東側の田んぼに水を流して稻作を行っていて、昔から住んでいる人が多くいます。その中で、私が昨年の7月豪雨の時に体験したことをお話しします。

（そのやり取りの後、一旦は帰宅しましたが、やがて気になつて数人に電話して一緒に巡回に行きました。）

1時間くらいの巡回後、解散してしばらくしていたところ、21：30に役場本部から、『災害対策本部の設置により、出動依頼』のメールが来たので、車と徒步組で再度巡回開始したものの、やはり水量は多いな程度でした。24：00まで機庫待機し日付が変わつて解散しました。

私は、里庄町消防団第8部で部長をしている高島修と申します。私が住んでいる里庄町は岡山県の南西部に位置し、面積が約12平方キロメートルと、県内で2番目に小さい町で約11,000人の人が暮らしています。国道2号線とJR山陽本線が町内を通り、高速道路のインターチェンジも近く都市部へのアクセスが生まれている里庄町は、移住者も多数いるなど、年々団地が増えています。

一方で、農業用のため池も数多く残っています。私が管轄する地区は、西側に山があり、その中腹にある大きな溜池から東側の田んぼに水を流して稻作を行っていて、昔から住んでいる人が多くいます。その中で、私が昨年の7月豪雨の時に体験したことをお話しします。

（そのやり取りの後、一旦は帰宅しましたが、やがて気になつて数人に電話して一緒に巡回に行きました。）

1時間くらいの巡回後、解散してしばらくしていたところ、21：30に役場本部から、『災害対策本部の設置により、出動依頼』のメールが来たので、車と徒步組で再度巡回開始したものの、やはり水量は多いな程度でした。24：00まで機庫待機し日付が変わつて解散しました。

平成30年7月豪雨に

おける活動報告

平成30年7月6日

今日は一日中雨が降っていて、昨日より状況が悪くなつてないか心配でしたので、出動を見越して会社帰りに食料の買出しをして自宅待機していました。

20:00頃出勤要請があり、昨日同様、異常個所があればLINEに画像を送つてもらうように団員に依頼し、カツバをおおり巡回開始21:00頃、山からの水は増量し、1つの池はオーバーフローしていました。近隣の住民に話を聞くと、「さざつ」と崩れるような音が聞こえて、気味が悪い」というような音だったので、本部と連絡を取り合へ、その地区的全家庭に状況を説明し、避難所への移動を呼びかけました。

私は、分担の地区は山に囲まれていてあまり無線の状態がよくありません。その中で「LINE」での画像の送信は、本部への連絡等でも非常に役に立ちました。それと、一人でできることは限りがありますが、部会員・団会員ができるところはまだたくさんあると感じました。また、今回の豪雨災害での活動により、今までよりも地域のつながりが深まつたと思います。具体的には、年末夜警のたりに地区の子供会と一緒に見回りをしました。これは今寝るしかないということで、仮眠組と帰宅組に分かれて休息に入りました。

それと、一人でできることは限りあります。そこで、一人でできることは限りありますが、部会員・団会員ができるところはまだたくさんあると感じました。また、今回の豪雨災害での活動により、今までよりも地域のつながりが深まつたと思います。具体的には、年末夜警のたりに地区の子供会と一緒に見回りをしました。これは今寝るしかないということで、仮眠組と帰宅組に分かれて休息に入りました。

それと、一人でできることは限りあります。そこで、一人でできることは限りありますが、部会員・団会員ができるところはまだたくさんあると感じました。また、今回の豪雨災害での活動により、今までよりも地域のつながりが深まつたと思います。具体的には、年末夜警のたりに地区の子供会と一緒に見回りをしました。これは今寝るしかないということで、仮眠組と帰宅組に分かれて休息に入りました。

（そのやり取りの後、一旦は帰宅しましたが、やがて気になつて数人に電話して一緒に巡回に行きました。）

1時間くらいの巡回後、解散してしばらくしていたところ、21：30に役場本部から、『災害対策本部の設置により、出動依頼』のメールが来たので、車と徒步組で再度巡回開始したものの、やはり水量は多いな程度でした。24：00まで機庫待機し日付が変わつて解散しました。



大規模火災発生時に備える ～市町村の枠を越えた連携 2市1町合同林野火災消防訓練～



平成31年2月24日、つばきの丘運動公園で笠岡市・浅口市・里庄町の2市1町合同で林野火災訓練を実施しました。3年に1回、各市町が持ち回りで開催するこの訓練には、各市町の消防団員と笠岡地区消防組合(笠岡消防署・鴨方消防署・寄島出張所)の消防署員、合わせて約150人が出動し、1つの市町だけでは対応しきれない大規模な火災が発生したときに対応するため、各隊の消火技術はもとより、担当地区や市町村の枠を越えた連携の向上を目指して活動しました。

また、里庄町婦人防火クラブもこの訓練に併せて炊き出し訓練を実施し、見学者や訓練参加者に豚汁を振る舞いました。

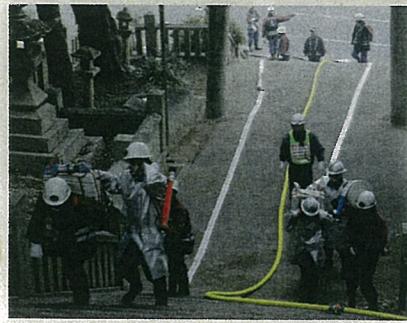


文化財を 延焼から守れ！ ～文化財消防訓練～

平成31年2月3日、第65回文化財防火デー消防訓練が高岡神社で行われ、里庄町消防団員と鴨方消防署員、約50名が出動しました。

この訓練は、昭和24年に法隆寺が火災にあったことを教訓に、防火意識を高め、消防職員・消防団員の消防戦術の向上に資することを目的に、毎年、鴨方消防署管内で実施しているものです。

今回の訓練は投げ捨てた煙草の火が枯れ草に着火し、山林に燃え広がったとの想定で行われ、里庄町消防団員は消防隊員と一致協力し真剣に取り組みました。



あそびは 絶対しません！ ～東・西幼稚園 幼年消防クラブ～

平成30年10月29日、東幼稚園と西幼稚園で幼年消防クラブを開催しました。園児たちは、消防署員や消防団長の話を聞いた後、皆で元気よく「防火の誓い」を読み上げました。

その後、防火服を着たり、救急車やタンク車の見学をしたり、消防署員と一緒に放水体験をしたりしながら、楽しく消防のことについて学びました。



強固な団結力で災害に強いまちづくりを ～里庄町消防出初式～

平成31年1月27日、里庄総合文化ホールで平成31年里庄町消防出初式を挙行しました。多数の来賓の出席の中、消防団員、婦人防火クラブ員、消防署員、合わせて約300人が出動し、伝統ある里庄町消防出初式を厳粛に執り行いました。

これまで受け継いできた伝統、誇りと消防職務の重要性を再認識し、結束を誓いました。また、北野消防団長が「消防団員・婦人防火クラブ員の皆様においては、地域防災活動の一線で、町や消防本部、町民や企業との協力、連携を密にし、相互の信頼を深め、安心・安全な町づくりのため、一層の御尽力をお願いします。」と訓示しました。

その後、これまでの消防団活動に多大なる功績のあった消防団員を表彰しました。



婦防会長のことば

会長 小野 妙子

里庄町婦人防火クラブは、「家庭から火を出さない」を合言葉に、初期消火や防火防災の普及啓発活動を実施し、火災予防に取り組んでいます。本年度は、出初式、年末夜警への出席、消防操法訓練の応援、産業文化祭での啓発活動、研修会による知識の習得、林野火災訓練に合わせた炊き出し訓練などを行いました。

特に、平成31年2月9日に開催した、婦人防火クラブと自主防災組織の合同研修会は、毎年の視察研修に替えて実施いたしました。これは、平成30年7月の豪雨で町内外に大きな被害があったことを受け、今は、視察研修に行くときではなく、こういう災害を経験したときだからこそ、これから地域のお役に立つことのできる人材育成が必要であると確信し、婦人防火クラブ員や自主防災組織の方を対象とした研修会を企画し、開催させていただきました。

研修会当日は、私自身の勉強になったことはもちろん、受講していただいた皆様の熱心に取り組むお姿を拝見し、企画してよかったですと感じました。

日本各地で大災害がたびたび発生し、南海トラフ地震もいつ発生してもおかしくないと言われる中、私たちは、地域の中でできることを考え、また、次の世代に伝えていくことが使命であると思います。

クラブ員の皆様におかれましては、平素からお忙しい中、各種行事に御協力をいただいておりますが、今後の活動についても、ぜひとも、積極的なご参加をお願いし、ご家族に、地域の方々に、輪を広めて火災予防・防災減災に努めて参りましょう。

主な活動実績

4月	総会
5月	県消防操法訓練大会応援
10月	町消防操法訓練大会応援 防災訓練 幼年消防(東西幼稚園で実施)
11月	火災予防啓発活動(産業文化祭で実施) 防火パレード
12月	年末夜警
1月	消防出初式
2月	研修会(自主防災組織と合同で実施) 炊き出し訓練 (2市1町合同林野火災訓練で実施)

